

施設種類別の対策状況

施設の種別		施設例		講ずべき対策		対策未実施の 主な理由
				実施率		
				H28 月 4 月現在	H28 年 12 月現在	
①子どもが主に利用する施設及び医療機関	子どもが主に利用する施設	学校	敷地内	100.0%	100.0%	
		認定こども園、幼稚園、児童福祉施設	禁煙	100.0%	100.0%	
	医療機関	病院		75.0% 〔敷地内禁煙 又は建物内禁煙〕 92.6%	79.4% 〔敷地内禁煙 又は建物内禁煙〕 94.1%	精神科の入院患者等禁煙が困難な患者がいるため
②公共性の高い施設	官公庁施設	敷地内		95.3%	98.1%	喫煙する施設入所者等がいるため
	社会福祉施設	禁煙		82.0%	88.7%	
	大学等	又は 建物内 禁煙		100.0%	100.0%	
	美術館、博物館			98.8%	100.0%	
	図書館			100.0%	100.0%	
	体育館等運動施設			98.9%	100.0%	
	観覧場、展示場			97.6%	97.6%	
	集会場			97.6%	98.4%	
	公共交通機関、金融機関、公衆浴場					
③不特定多数の者が利用する施設	飲食店、理・美容店、宿泊施設、販売施設、遊技・娯楽施設	建物内禁煙 又は 完全分煙				建物の構造・面積上完全分煙室の設置が困難なため、収入減に繋がるため
④子ども等の利用がある屋外施設	公園、動物園、植物園、遊園地	敷地内禁煙				喫煙する利用者がいるため